



# QPS 9.1 ReadMe

## 目次

<b>QPS 9.1 ReadMe</b> .....	<b>5</b>
<b>QPSコンポーネント</b> .....	<b>6</b>
このバージョンで更新されたコンポーネント.....	6
互換性マトリクス.....	6
サーバーコンポーネント.....	7
その他のオプションのコンポーネント.....	8
クライアントコンポーネント.....	8
<b>必要システム構成</b> .....	<b>9</b>
<b>QPS Server : Mac OS</b> .....	<b>9</b>
ハードウェア.....	9
ソフトウェア.....	9
サポート対象のプラットフォーム*.....	10
<b>QPS Server : Windows</b> .....	<b>10</b>
ハードウェア.....	10
ソフトウェア.....	10
サポート対象のプラットフォーム*.....	10
<b>QPS Database*</b> .....	<b>11</b>
<b>QPS File Server : Mac OS</b> .....	<b>11</b>
ハードウェアオプション.....	11
ソフトウェア.....	11
サポート対象のプラットフォーム*.....	11
<b>QPS File Server : Windows</b> .....	<b>12</b>
ハードウェア.....	12
ソフトウェア.....	12
サポート対象のプラットフォーム*.....	12
<b>QPS File Server : Solaris</b> .....	<b>12</b>
ハードウェア.....	12
ソフトウェア.....	13
<b>QPS Connect Client : Mac OS</b> .....	<b>13</b>
ハードウェア.....	13
ソフトウェア.....	13
サポート対象のプラットフォーム*.....	13
<b>QPS Connect Client : Windows</b> .....	<b>13</b>
ハードウェア.....	13
ソフトウェア.....	13
サポート対象のプラットフォーム*.....	14
<b>QPS Web Hub</b> .....	<b>14</b>

<b>推奨ハードウェア構成</b> .....	<b>15</b>
小規模のQPSトラフィック .....	15
中規模のQPSトラフィック（オプション1） .....	16
中規模のQPSトラフィック（オプション2） .....	16
大規模のQPSトラフィック.....	17
<b>QPSソフトウェアのインストール</b> .....	<b>19</b>
<b>QPS Serverのインストール</b> .....	<b>19</b>
Mac OS.....	19
Windows.....	20
QPS Script Manager.....	22
<b>QuarkXPress Serverのインストール</b> .....	<b>22</b>
<b>QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール</b> .....	<b>22</b>
Mac OS.....	23
Windows.....	23
<b>QPS Databaseのインストール</b> .....	<b>23</b>
QPS Databaseのインストール – HSQL DB.....	23
WindowsでのQPS Databaseのインストール – MS SQL Server.....	23
WindowsでのQPS Databaseのインストール – Oracle.....	24
Linux上のOracleのQPSスキーマの設定.....	25
<b>QPS Connect Clientのインストール</b> .....	<b>26</b>
Mac OS.....	26
Windows.....	26
<b>QPS XTensionsソフトウェアの手動でのインストール</b> .....	<b>27</b>
Mac OS.....	27
Windows.....	28
<b>インストール後に変更を行うには</b> .....	<b>29</b>
QuarkXPress Serverロケールの識別.....	29
QuarkXPress Serverの更新.....	30
QPS Connect Clientのインストール内容の更新: Windows.....	30
QPS ServerへのRAMの割り当て.....	31
<b>QPSソフトウェアの更新</b> .....	<b>33</b>
QPS Serverの更新（Mac OS） .....	33
QPS Serverの更新（Windows） .....	34
QPS Connect Clientの更新（Mac OS） .....	34
QPS Connect Clientの更新（Windows） .....	35
QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアの更新.....	35
<b>QPS 9.1へのアップグレード</b> .....	<b>36</b>
QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのアップグレード	
.....	36
QPS Serverのアップグレード（Mac OS） .....	36
QPS Serverの更新（Windows） .....	37
QPS Databaseのアップグレード.....	38

QPS Databaseのアップグレード（Windows）：MS SQL ServerまたはOracle	38
QPS Databaseのアップグレード（Linux）：Oracle	38
<b>QPS XDKのドキュメント</b>	<b>39</b>
<b>QPS Serverの起動</b>	<b>40</b>
Mac OS	40
Windows	40
QXP Serverの再起動の自動化	40
<b>アンインストール</b>	<b>42</b>
QPS Serverのアンインストール	42
Mac OS	42
Windows	42
QPS Connect ClientおよびQPS XTensionsソフトウェアのアンインストール	42
Mac OS	42
Windows	44
<b>このバージョンにおける変更点</b>	<b>45</b>
一般的な変更点	45
QPS Web Hubの変更点	49
App Studioの変更点	49
<b>既知および解決済みの問題</b>	<b>51</b>
<b>Quarkへの連絡</b>	<b>52</b>
南北アメリカ	52
南北アメリカ以外の国々	52
オーストラリア	53
<b>法律上の注記</b>	<b>54</b>

# QPS 9.1 ReadMe

Quark Publishing System® (QPS®) を導入すれば、ワークグループの出版者はアプリケーションやサーバーのネットワークシステムを介してファイルやタスクを統合できるようになります。本書には、ハードウェア要件およびソフトウェア要件の評価、環境の準備、およびQPSのインストールに関する重要な情報が含まれています。

QPSを初めてインストールする場合は、以下の順序で各コンポーネントをインストールする必要があります。

手順	ノート
QPS Server 9.1をインストールするか、QPS Server 8.5以降のバージョンを9.1にアップグレードします。	インストーラは <a href="http://qallianceftp.quark.com">qallianceftp.quark.com</a> の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QuarkXPress® Server 9.1をインストールします。	インストーラは <a href="http://qallianceftp.quark.com">qallianceftp.quark.com</a> の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QuarkXPress Server 9.1用QPS XTensions®をインストールします。	インストーラは <a href="http://qallianceftp.quark.com">qallianceftp.quark.com</a> の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QPS Databaseをインストールまたはアップグレードします。	詳細は、「 <a href="#">QPS Databaseのインストール</a> 」を参照してください。
QuarkXPress 9.1をインストールするか、QuarkXPressのバージョンを9.0または9.0.1から9.1に更新します。	インストーラは <a href="http://qallianceftp.quark.com">qallianceftp.quark.com</a> の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QuarkCopyDesk® 9.1をインストールするか、QuarkCopyDeskのバージョンを9.0または9.0.1から9.1に更新します。	インストーラは <a href="http://qallianceftp.quark.com">qallianceftp.quark.com</a> の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QPS 9.1をインストールするか、QPSのバージョンを9.0から9.1に更新します。	インストーラは <a href="http://qallianceftp.quark.com">qallianceftp.quark.com</a> の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)

➡ [qallianceftp.quark.com](http://qallianceftp.quark.com)にアクセスできない場合は、[enterprisesupport@quark.com](mailto:enterprisesupport@quark.com)宛てにメールでお問い合わせください。

# QPSコンポーネント

QPSには、サーバーコンポーネントおよびクライアントコンポーネントが含まれています。これらのコンポーネントは、下記のハードウェアおよびソフトウェアの構成で正常に動作することが確認されています。

## このバージョンで更新されたコンポーネント

このセクションでは、このリリースで更新されているコンポーネントを示します。このリストに含まれていないコンポーネントは、このリリースでは更新されていません。

- QPS Server
- QuarkCopyDesk
- QuarkXPress
- QuarkXPress Server
- QuarkXPress Server用QPS XTensions
- QuarkXPress用QPS XTensions
- QuarkCopyDesk用QPS XTensions
- QPS Connect Client
- QPS Server XDK
- QPS Client XDK
- QPS XTensions XDK
- InDesign® CS4およびInCopy® CS4用QPS Connect
- SharePoint® 2010用QPS Adapter
- Automation Services

## 互換性マトリクス

以下の表は、QPS 8.1から9.1までと互換性があるQuarkソフトウェアのバージョンを示しています。I=インストーラあり、U=アップデートあり。

QPSソリューション	バージョン 8.1	バージョン 8.1.3.0	バージョン 8.1.4.0	バージョン 8.1.6.0	バージョン 8.5	バージョン 9.0	バージョン 9.1
QuarkXPress	8.1	8.12	8.12	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
QuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェア	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
QuarkCopyDesk	8.1	8.13	8.14	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
QuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェア	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
QuarkXPress Server	8.1	8.12	8.14	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
QuarkXPress Server用 QPS XTensionsソフト ウェア	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
QPS Connect Client	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
QPS Server	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
QPS Server XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
QPS Client XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
QuarkXPress用QPS XTensions XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
QuarkCopyDesk用QPS XTensions XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0	9.1
Alfresco® 3.1用QPS Adapter	8.1, 8.1.0.1	8.1.0.1	8.1.0.1	8.1.0.1	—	—	—
InDesign CS4および InCopy CS4用QPS Connect	8.1	8.1	8.1	8.1.6.0	8.5 (I/U)	—	—
SharePoint 2010用QPS Adapter	—	—	—	—	8.5 (I)	9.0	9.1
Automation Services	—	—	8.1	8.1.6.0	8.5 (I)	9.0.1	9.1
Altova® MapForce®	2010 r1	2010 r1	2010 r1	2010 r1	2010 r3	2010 r3	2010 r3
QPS Portal Services	—	—	8.1.4.0	8.1.6.0	—	—	—

### サーバーコンポーネント

- QPS Serverソフトウェア
- QPS File Server

## QPSコンポーネント

- QuarkXPress® Server（最小システム構成およびインストール手順については、*QuarkXPress Server ReadMe*ファイルを参照してください）
- Quark® License Administrator（QLA） 4.5（Quarkソフトウェアのライセンス管理用）

### その他のオプションのコンポーネント

- Oracle® 10.2.0.4（Windows®またはLinux）を使用したQPSデータベース
- Microsoft® SQL Server® 2005 SP2（Service Pack 2）またはMicrosoft SQL Server 2008 SP1上で動作するQPSデータベース
- QPS Script Manager（タスクの自動化）
- InDesign CS4用QPS Adapter
- SharePoint 2010用QPS Adapter
- Automation Services

### クライアントコンポーネント

- QPS Connect Client
- QuarkCopyDesk 9.1（QuarkCopyDesk用QPS XTensions®ソフトウェアを含む）
- QuarkXPress® 9.1（QuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェアを含む）
- QPS Web Hub



# 必要システム構成

下記のQPS必要システム構成は、基準となる構成ではありますが、ユーザー数、アセット数、およびアセットリビジョン数によってシステムパフォーマンスは変動します。アスタリスクが付いた要件は、これらの変動要素によって影響を受けます。これらの変動要素を考慮するためのガイダンスについては、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。RAM要件は、コンピュータ上の他のサードパーティアプリケーションを考慮していません。また、QuarkXPress Server、QuarkXPress、およびQuarkCopyDeskの要件は下記には含まれていません。これらのアプリケーションのシステム要件については、それぞれのReadMeファイルを参照してください（アプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダに保存されています）。

- ➡ 本書に記載されたオペレーティングシステムの要件には、最新のパッチおよびサービスパックが含まれています。
- ➡ QPSは、VMWare ESXi対応確認済みです。QuarkXPress Serverは、QPSの一部としてのみVMWare ESXi対応確認済みです。
- ➡ QPSは、Citrix Presentation Server 4.5およびCitrix XenApp 5.0との動作が確認されています。

## QPS Server : Mac OS

### ハードウェア

- 合計4GBのRAM（少なくとも、RAMの合計空き容量の半分をQPS Serverに割り当てることをお勧めします）\*
- 1GBのハードディスクの空き容量\*
- TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

- ➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

### ソフトウェア

- Mac OS® 10.4.11、10.5.8、10.6.6、10.6.8、または10.7
- Mac OSサーバー10.4.11、10.5.8、10.6.6、10.6.8、または10.7
- Java™ Development Kit (JDK™) 1.5または1.6

- Quark License Administrator (QLA) 4.5 (QPS ServerおよびQuarkXPress Serverに必要になります)
- QuarkXPress Server (QuarkXPress ServerはQPS Serverに必要になります。QPS Serverをインストールおよび実行するコンピュータとは別のコンピュータでQuarkXPress Serverをインストールおよび実行し、パフォーマンスを向上させることを推奨します)

### サポート対象のプラットフォーム\*

- Intelプロセッサ (推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているIntel® Xserveコンピュータ
- G5 PowerPC®プロセッサ (サポート対象ですが、非推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているG5 Xserve®
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているMac Pro

## QPS Server : Windows

### ハードウェア

- 合計4GBのRAM (QPS Serverにできるだけ多くのRAMを割り当てることをお勧めします。ただし、Windows®で約1.6GBを超える割り当てを行うことはできません) \*
- 1GBのハードディスクの空き容量\*
- TCP/IPネットワーク (Gigabit Ethernetを推奨)

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

### ソフトウェア

- Microsoft® Windows Server 2003 (Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット)
- Microsoft Windows Server 2008または2008 R2 (Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット)
- .NET Framework 3.5 SP1
- Java Development Kit (JDK) 1.6
- Quark License Administrator (QLA) 4.5 (QPS ServerおよびQuarkXPress Serverに必要になります)
- QuarkXPress Server (QuarkXPress ServerはQPS Serverに必要になります。QPS Serverをインストールおよび実行するコンピュータとは別のコンピュータでQuarkXPress Serverをインストールおよび実行し、パフォーマンスを向上させることを推奨します)

### サポート対象のプラットフォーム\*

- マルチコアXeon®プロセッサベースのサーバー
- Intel® Core™ 2 Duo

- VMware ESXi (仮想化プラットフォーム)

### QPS Database\*

- 埋め込みモードのHSQL DB 1.8 (インストール時にHSQL DBを選択した場合、QPS Serverインストーラによってこのデータベースが埋め込みモードでインストールされず)
- Microsoft SQL Server 2005 SP2、Microsoft SQL Server 2008 SP1、Microsoft SQL Server 2008 SP2 (Standard EditionまたはEnterprise Edition)、またはMicrosoft SQL Server 2008 R2
- Red Hat Enterprise Linux 5、Microsoft Windows Server 2003またはMicrosoft Windows Server 2008上で動作するOracle Database 10g Release 2 (10.2.0.4)

➡ Microsoft SQL Serverデータベースを使用する場合、先にMicrosoft SQL Serverをインストールする必要があります。WindowsでOracleデータベースを使用する場合には、まずOracleをインストールする必要があります。次に、インストーラである"QPS Server.exe"をWindowsで実行して**QPS Databaseのインストール**をクリックし、画面の指示に従って、QPSスキーマをMicrosoft SQL ServerデータベースまたはOracleデータベースに作成します。

### QPS File Server : Mac OS

#### ハードウェアオプション

- 合計2GBのRAM\*
- 5~150GBのハードディスクの空き容量 (アセット数によって異なります) \*
- TCP/IPネットワーク (Gigabit Ethernetを推奨)

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

#### ソフトウェア

- Mac OS X Server 10.4.11、Mac OS X Server 10.5.8、Mac OS 10.6.6、Mac OS X 10.6.8、またはMac OS X 10.7

#### サポート対象のプラットフォーム\*

- Intelプロセッサ (推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているIntel® Xserveコンピュータ
- G5 PowerPC®プロセッサ (サポート対象ですが、非推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアを実行するG5 Xserve® (サポート対象ですが、非推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているMac Pro

- ➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することをお勧めします。QPS ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5～150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB（概算値）を追加してください。

### QPS File Server : Windows

#### ハードウェア

- 合計2GBのRAM\*
- 5～150GBのハードディスクの空き容量（アセット数によって異なります）\*
- TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

- ➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

#### ソフトウェア

- Microsoft Windows Server 2003（Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット）
- Microsoft Windows Server 2008（Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット）

#### サポート対象のプラットフォーム\*

- Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Edition（推奨）が稼動しているIntel vPro™テクノロジーおよびIntel Core 2 Duo
  - Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Editionが稼動しているシングルプロセッサのIntel® Pentium® 4/Pentium D/デュアルプロセッサのXeon
- ➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することを推奨します。QPS ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5～150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB（概算値）を追加してください。

### QPS File Server : Solaris

#### ハードウェア

- SPARC™ベースまたはx64/x86ベースのシステム
- 合計2GBのRAM
- 5～150GBのハードディスクの空き容量（アセット数によって異なります）\*

- ➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことを推奨します。

## ソフトウェア

- Sun™ Solaris™ 8以降

## QPS Connect Client : Mac OS

### ハードウェア

- 合計1GBのRAM\*
- プログラムファイル用に500MBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量
- TCP/IPネットワーク

### ソフトウェア

- Mac OS X 10.5.8、10.6.6、10.6.8、または10.7

### サポート対象のプラットフォーム\*

- Intel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のiMac
- Mac OS Xクライアントソフトウェアが稼働しているIntel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のMacBookまたはMacBook Pro
- Mac OS Xクライアントソフトウェアを実行するMac Pro
- Intel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のMac mini

## QPS Connect Client : Windows

### ハードウェア

- 合計1GBのRAM\*
- プログラムファイル用に500MBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量

### ソフトウェア

- Microsoft Windows XP Professional Edition、Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 BusinessまたはUltimate
- .NET Framework 3.5 SP1

### サポート対象のプラットフォーム\*

- Windows XP Professional Edition、Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼動しているIntel Core 2 Duoプロセッサ
- Windows XP Professional Edition、Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼動しているIntel Xeonプロセッサ
- Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼動しているIntel vProテクノロジーおよびIntel Core 2 Duo
- Windows XP Professional Edition、Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼動しているIntel Pentium 4プロセッサ

### QPS Web Hub

- Mozilla Firefox 4.xおよび5.x (Mac OSまたはWindows)、Microsoft Internet Explorer 9.x (Windows)、Microsoft Internet Explorer 8.x (Windows)、Safari 5.x (Mac OS)、またはGoogle Chrome 12.x (Mac OSおよびWindows)

➡ \* 詳細は、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。

# 推奨ハードウェア構成

以下の要因を考慮して、組織に必要なハードウェアを特定してください。変動要素には、ユーザー数、アセットの数、アセットの種類（サイズの小さいテキストファイル、サイズの大きい画像ファイルなど）、アセットのリビジョン数があります。アセットを検索するとき、QPS Serverのパフォーマンスはマスターファイルの数（各アセットの現在のバージョン）に左右されます。リビジョンの数はQPS Serverのパフォーマンスに影響しませんが、リビジョン番号の変動要素はQPS File Serverに必要なディスク容量に影響します。また、複数のユーザーからの検索処理数を増やしても、QPS Serverのパフォーマンスに影響することがあります。

アカウント管理者に問い合わせて、以下の推奨構成に基づいて組織のニーズを特定してください。小容量、中容量、大容量の各構成は、QPS Connect Clientウィンドウの**ユーザーアクティビティ**画面に表示されるログオンユーザー数（ユーザーセッション数）に基づいた推定です。

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

## 小規模のQPSトラフィック

下記の構成で、小規模のQPSワークフロー（約30ユーザーおよび5,000アセット）を適切に処理できます。QPS Database、QPS Server、およびQPS File Serverを1台のコンピュータにインストールできますが、QuarkXPress Serverは別のコンピュータで使用することをお勧めします。

### コンピュータ1：QPS Database (HSQL)、QPS Server、QPS File Server

- **RAM**：4GB（1GBはJava Virtual Machineへの割り当て）
- **ハードディスク**：1GBの空き容量（アセットに必要な5~150GB以外）
- **RAID**：不要
- **CPU**：Dual Core Intel（推奨）
- **ネットワーク**：ギガビットNIC（推奨）

### コンピュータ2：QuarkXPress Server（2つのサブレンダラ）

## 推奨ハードウェア構成

- RAM : 4GB
- ハードディスク : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- RAID : 不要
- CPU : Dual Core Intel (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

### 中規模のQPSトラフィック (オプション1)

下記の構成で、中規模のQPSワークフロー (約50ユーザーおよび20,000アセット) を適切に処理できます。QPS Database、QPS Server、およびQPS File Serverを1台のコンピュータにインストールできますが、QuarkXPress Serverコンピュータ用により多くのRAMを割り当てる必要があります。このオプションでは、サーバーコンピュータを2台で構成することを提案しています。

#### コンピュータ1 : QPS Database (HSQL) 、 QPS Server、 QPS File Server

- RAM : 8GB (2GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- ハードディスク : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5~150GB以外)
- RAID : 1+0を推奨
- CPU : 4 Core Intel Xeon、 64ビット (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

#### コンピュータ2 : QuarkXPress Server (4つのサブレンダラ)

- RAM : 8GB
- ハードディスク : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- RAID : 不要
- CPU : 4 Core Intel Xeon、 64ビット (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

### 中規模のQPSトラフィック (オプション2)

下記の構成で、中規模のQPSワークフロー (約50ユーザーおよび20,000アセット) を適切に処理できます。QPS DatabaseにRedundant Array of Independent Drives (RAID) を使用することで、アセットへのアクセスパフォーマンスが向上します。このオプションでは、サーバーコンピュータを3台で構成することを提案しています。

#### コンピュータ1 : QPS Database (Microsoft SQL ServerまたはOracle)

- RAM : 8GB
- ハードディスク : 20GBの空き容量
- RAID : RAID 1+0
- CPU : 4 Core Intel Xeon、 64ビット (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)



**コンピュータ2 : QPS Server、QPS File Server**

- **RAM** : 8GB (1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- **ハードディスク** : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5~150GB以外)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 4 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

**コンピュータ3 : QuarkXPress Server (4つのサブレンダラ)**

- **RAM** : 8GB
- **ハードディスク** : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 4 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

**大規模のQPSトラフィック**

下記の構成で、大規模のQPSワークフロー (150ユーザーおよび60,000アセット以上) を適切に処理できます。この規模を超える要件の場合は、[enterprisesupport@quark.com](mailto:enterprisesupport@quark.com) にお問い合わせください。

**コンピュータ1 : QPS Database (Microsoft SQL ServerまたはOracle)**

- **RAM** : 8GB
- **ハードディスク** : 40GBの空き容量
- **RAID** : RAID 1+0
- **CPU** : 8 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

**コンピュータ2 : QPS Server、QPS File Server**

- **RAM** : 8GB (1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- **ハードディスク** : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5~150GB以外)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 8 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

**コンピュータ3 : QuarkXPress Server (8つのサブレンダラ)**

- **RAM** : 8GB
- **ハードディスク** : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 8 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)

## 推奨ハードウェア構成

- ネットワーク：ギガビットNIC（推奨）

# QPSソフトウェアのインストール

QPSには、サーバーコンポーネントおよびクライアントコンポーネント用に複数のインストーラがあります。これらのインストーラは、下記の順序で実行する必要があります。下記の順序に従わないと、QPSソフトウェアのインストールをすべて完了した後でファイルを手動でコピーする必要が発生します。

- 1 QuarkXPress Serverをインストールします。
- 2 QPS Serverインストーラに含まれているQuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールします。
- 3 QPS Databaseをインストールします。
- ➡ QPSで使用するためにMicrosoft SQL Serverデータベースを設定する場合、Microsoft SQL ServerソフトウェアをインストールするときにWindows認証を使用しないでください。
- 4 QPS Serverをインストールします。
- 5 QuarkCopyDeskをインストールします。
- 6 QuarkXPressをインストールします。
- 7 QPS Connect Clientをインストールします（このインストーラによって、QuarkCopyDeskおよびQuarkXPress用のQPS XTensionsソフトウェアもインストールされます）。

## QPS Serverのインストール

### Mac OS

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- ➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要があります。
- 2 **QPS Server Installer**をダブルクリックします。  
QPS Serverウィンドウが表示されます。
- 3 **QPS Serverのインストール**をクリックします。  
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。

- 4 **続ける**をクリックし、ライセンス契約を読んでから、**次へ**、そして**同意する**をクリックします。  
ソフトウェアの認証画面が表示されます。
- 5 バリデーションコードを入力し、**次へ**をクリックします。  
ライセンスサーバーの情報画面にシリアル番号とインストール日が表示されます。
- 6 Quark License Administrator (QLA) コンピュータのIPアドレスまたはホスト名を**ホスト名またはIPアドレス**フィールドに入力します。
- 7 **ポート**フィールドにポート番号を入力します。
- 8 QLAバックアップサーバーを使用する場合は、IPアドレスまたはホスト名およびポート番号を**バックアップのホスト名またはIPアドレス**および**ポート**フィールドに入力します。
- 9 **次へ**をクリックします。  
データベース情報画面が表示されます。
- 10 手順5で入力したバリデーションコードは、**データベース選択**コントロールにグレーで表示される選択したデータベースに対応しています。その他のオプションは、選択によりさまざまです。
  - HSQLデータベースとスキーマの埋め込みを選択すると、**デフォルト (埋め込みモードではHSQL DB)** がグレーで表示されます。
  - すでにインストールしたMicrosoft SQL Serverデータベースの使用を選択すると、**SQL Server**がグレーで表示されます。Microsoft SQL Serverデータベースサーバーのホスト名、ポート、インスタンス名、データベースユーザー名、およびデータベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsでのQPS Databaseのインストール – MS SQL Server](#)」を参照してください。
  - Oracleデータベースの使用を選択すると、**Oracle**がグレーで表示されます。Oracleサーバーのホスト名、インスタンス名、データベースユーザー名、およびデータベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」を参照してください。
- 11 QPS Serverをサービスとして実行するには、**Quark Publishing システム(サーバー)をサービスとしてインストール**をオンにします。**次へ**をクリックしてインストールを続行します。  
**QuarkXPress Server情報**画面が表示されます。
- 12 QuarkXPress ServerのIPアドレスとポート番号を入力し、**次へ**をクリックします。  
**インストール先の選択**画面が表示されます。
- 13 QPS Serverの場所を選択し、**続ける**をクリックしてから**インストール**をクリックします。  
インストール後にQPS Server Consoleが起動します。
- 14 **QPS Serverを起動**をクリックしてサーバーを起動できます。

### Windows

QPS Serverアプリケーションのインストールは下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- ➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要があります。バリデーションコードは選択するデータベースに関連付けられています（埋め込みHSQLデータベース、Microsoft SQL Server、Oracle）。
- 2 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックします。次の3つのオプションを持つ**Quark Publishing System**のインストーラ画面が表示されます。**QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール、QPS Databaseのインストール、そしてQPS Serverのインストール。**
- 3 **QPS Serverのインストール**をクリックして、**次へ**をクリックします。  
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 **ライセンス契約書の条項に同意します**をクリックし、**次へ**をクリックします。  
ソフトウェアの認証画面が表示されます。
- 5 バリデーションコードを入力し、**次へ**をクリックします。  
ライセンスサーバーの情報画面にシリアル番号とインストール日が表示されます。
- 6 Quark License Administrator (QLA) コンピュータのIPアドレスまたはホスト名を**ホスト名またはIPアドレス**フィールドに入力します。
- 7 **ポート**フィールドにポート番号を入力します。
- 8 QLAバックアップサーバーを使用する場合は、ホスト名またはIPアドレスおよびポート番号を**バックアップのホスト名またはIPアドレス**および**ポート**フィールドに入力します。
- 9 **次へ**をクリックします。  
データベース情報画面が表示されます。
- 10 手順5で入力したバリデーションコードは、**データベース選択**コントロールにグレーで表示される選択したデータベースに対応しています。その他のオプションは、選択によりさまざまです。
  - バリデーションコードがHSQLデータベースとスキーマを指定していると、**デフォルト (埋め込みモードのHSQL DB)** がグレーで表示されます。
  - すでにインストールしたMicrosoft SQL Serverデータベースの使用を選択すると、**SQL Server**がグレーで表示されます。Microsoft SQL Serverデータベースサーバーのホスト名、インスタンス名、ポート番号、データベースユーザー名、データベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsでのQPS Databaseのインストール – MS SQL Server](#)」を参照してください。
- ➡ このデータベースのデフォルトのポートは1433ですが、番号が違う可能性もあります。番号を調べるには、SQL Server Configuration Managerでデータベースのインスタンスを確認します。
  - Oracleデータベースの使用を選択すると、**Oracle**がグレーで表示されます。Oracleサーバーのホスト名、インスタンス名、ポート番号、データベースユーザー名、データベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsでのQPS Databaseのインストール – Oracle](#)」を参照してください。

## QPSソフトウェアのインストール

11 次へをクリックします。

インストール先フォルダ画面が表示されます。

12 QPS Server Windowsサービスの設定には、**システム選択**ドロップダウンメニューのオプションを選択してください。

- ローカルシステムアカウント制御を指定するには、**ローカル**を選択します。
- ドメインユーザー制御を指定するには、**ドメイン**を選択して、ドメイン名、ユーザー名、パスワードを入力します。

➡ **ドメイン**を選択した場合は、コンピュータの管理権限を持つアカウント名を入力します。

13 次へをクリックします。

QuarkXPress Server情報画面が表示されます。

14 QuarkXPress ServerのIPアドレスとポート番号を入力し、次へをクリックします。

アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。

15 インストールをクリックします。

インストール後にQPS Server Consoleが起動します。

16 QPS Serverを起動をクリックしてサーバーを起動できます。

### QPS Script Manager

QPS Script Managerでは、スクリプトを使用してQPS Serverのタスクを自動化できます。QPS Script Managerは、"QPS Server"アプリケーションフォルダにある"ScriptManager"フォルダにインストールされます。QPS Script Managerを別のコンピュータにインストールする場合は、QPSの"ScriptManager"フォルダを対象のコンピュータにコピーします。

QPS 8.1現在で、Script Managerを使用するには、使用許諾されている必要があります。使用許諾されている場合、Script Managerはデフォルトで有効になります。

### QuarkXPress Serverのインストール

QuarkXPress Serverのインストールに関する詳細は、QuarkXPress Serverアプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダ内の**QuarkXPress Server ReadMe**ファイルを参照してください。**ポートとフォルダの設定**画面が表示されたら**HTTPインターフェイスを使用**をオンにして、ポート番号を入力します。QPS Serverを入力するときに必要になるため、ポート番号を記録します。また、**ファイルシステムのドキュメントプールを使用**をオンにして**参照**をクリックし、場所を指定します。

### QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストーラファイルをQuarkXPress Serverコンピュータで実行してください。

## Mac OS

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にし、インストールを行ってください。
- 2 **QPS Server Installer**をダブルクリックします。  
QPS Serverウィンドウが表示されます。
- 3 **QuarkXPress Server用QPS XTensions Softwareをインストールします**をクリックします。  
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 4 **続ける**をクリックし、ライセンス契約を読んでから、**続ける**、**同意する**、**インストール**の順にクリックします。  
XTensionsソフトウェアのファイルがインストーラによってコピーされます。
- 5 **終了**をクリックして、インストールを終了します。

## Windows

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックします。**Quark Publishing System**のインストーラが開き、**QPS XTensions Software for QuarkXPress Server**をインストールします、**QPS Database**のインストール、**QPS Server**のインストールの3つのオプションが表示されます。
- 3 **QPS XTensions Software for QuarkXPress Server**をインストールしますをクリックし、画面の指示に従います。

## QPS Databaseのインストール

QPS Databaseのインストール方法には、下記の3つのオプションがあります。HSQL DB、MS SQL Server、およびOracleです。以下の手順に従ってください。

### QPS Databaseのインストール — HSQL DB

QPS Serverインストーラを実行すると、QPSはHSQL QPS Databaseを埋め込むため、このデータベースをインストールするのが最も簡単なオプションです。QPSスキーマをHSQLデータベースにインストールするために独立したデータベースインストーラを実行する必要はありません。詳細は、「[QPS Serverのインストール](#)」を参照してください。

### WindowsでのQPS Databaseのインストール — MS SQL Server

Microsoft SQL ServerのQPS Databaseをインストールする前に、MS SQL ServerをWindowsにインストールして設定する必要があります。QPS Databaseは、QPS

## QPSソフトウェアのインストール

Databaseインストーラ ("Installer > Database"フォルダ内の"Setup.exe") またはQPS Server Installer ("QPS Server.exe") を使ってインストールできます。MS SQL ServerのQPS Databaseをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "Installer > Database"フォルダの"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。  
**Quark Publishing System Database — 設定**ダイアログボックスが表示されます。  
➡ "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックしてから**QPS Databaseのインストール**をクリックしても、**Quark Publishing System Database — 設定**ダイアログボックスにアクセスできます。
- 3 **次へ**をクリックします。  
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 **ライセンス契約書の条項に同意します**をクリックしてから**次へ**をクリックします。  
データベース情報画面が表示されます。
- 5 **データベースタイプ選択**ドロップダウンメニューから**SQL Server**を選択し、**次へ**をクリックします。  
MS SQL Server情報を入力する画面が表示されます。
- 6 **ホスト/インスタンス名**フィールドに[ホスト名]¥[インスタンス名]を入力します。インスタンス名は、デフォルトのインスタンス (MSSQLSERVER) を使用しない場合のみ必要です。
- 7 作成するQPS Databaseの名前を**データベースユーザー名**フィールドに入力します。インストーラによってこの名前のデータベースが作成されます。次に、同じ名前のログインが作成され、そのログインにdb\_ownerロールが付与されます。
- 8 **データベースパスワード**フィールドに、ログインのパスワードを入力します。
- 9 **データベースインストール先フォルダ**領域の**参照**をクリックして、データベースデータファイルを保存するパスを指定します。
- 10 **次へ**をクリックします。  
アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。
- 11 **インストール**をクリックします。
- 12 インストールが完了したら、**完了**をクリックします。

### WindowsでのQPS Databaseのインストール — Oracle

OracleのQPS Databaseをインストールする前に、Oracleをインストールして設定する必要があります。Windows上のOracleのQPS Databaseは、QPS Databaseインストーラ ("Installer > Database"フォルダ内の"Setup.exe") またはQPS Server Installer ("QPS Server.exe") を使ってインストールできます。

- ➡ Linux上のOracleのQPS Databaseのインストールについては、「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」を参照してください。

OracleのQPS Databaseをインストールするには、下記の手順に従ってください。



- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 "Installer > Database"フォルダの"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。  
**Quark Publishing System Database — 設定**ダイアログボックスが表示されます。
- ➡ "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックしてから**QPS Databaseのインストール**をクリックしても、**Quark Publishing System Database — 設定**ダイアログボックスにアクセスできます。
- 3 **次へ**をクリックします。  
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 **ライセンス契約書の条項に同意します**。をクリックしてから**次へ**をクリックします。  
データベース情報画面が表示されます。
- 5 **データベースタイプ選択**ドロップダウンメニューから**Oracle**を選択し、**次へ**をクリックします。  
Oracleデータベース情報を入力する画面が表示されます。
- 6 **インスタンス名**フィールドにOracleサービス名を入力します。
- 7 **SYSパスワード**フィールドにデータベースSYSユーザーのパスワードを入力します。
- 8 作成するQPSスキーマの名前を**スキーマ名**フィールドに入力します。
- 9 **スキーマパスワード**フィールドにQPSスキーマのパスワードを入力します。
- 10 データファイル、索引ファイル、およびLOBファイルを保存するパスを、**保存先フォルダ**領域から選択します。
- 11 **次へ**をクリックします。  
アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。
- 12 **インストール**をクリックします。
- 13 インストールが完了したら、**完了**をクリックします。

### Linux上のOracleのQPSスキーマの設定

QPSスキーマを設定する前に、Oracleがコンピュータにインストール済みで、QPSスキーマを設定するデータベースがあることを確認してください。QPSパッケージに含まれている、QPSスキーマをOracle用に作成するスクリプトでは、データベースは作成されません。

- 1 "Oracle"フォルダ内の"Create"フォルダを開きます。
- 2 QPSスキーマを作成するには、"CreateAndSetup.sh" (Mac OS/Linux) または"CreateAndSetup.bat" (Windows) を、以下の引数を指定して実行します。
  - **SysPwd** : データベースのSYSユーザーのパスワード
  - **QPPUser** : 作成するQPSスキーマ名
  - **QPPPwd** : QPSスキーマのパスワード
  - **ServiceName** : Oracleサービス名

## QPSソフトウェアのインストール

- **DataDest** : データファイルが作成されるパス
- **IdxDest** : 索引ファイルが作成されるパス
- **LobDest** : lobファイルが作成されるパス

3 スクリプトは、下記の操作を行います。

- テーブルスペースの作成
- スキーマ/ユーザーの作成
- テーブルの作成
- 索引の作成
- プロシージャの作成
- 設定データの初期化
- ユーザーデータの初期化
- 外部キーの作成
- Quartzスキーマの作成

4 上記のそれぞれのタスク用に提供される個々のスクリプトを使うことができますが、"CreateAndSetup.sh"または"CreateAndSetup.bat"を実行してプロンプトに従って情報を入力することをお勧めします。

## QPS Connect Clientのインストール

### Mac OS

QPS Connect Clientをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "QPS Connect Client 9 Installer.app"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要はありません。

### Windows

QPS Connect Clientをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 "Setup.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってください。

➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要はありません。

## QPS XTensionsソフトウェアの手動でのインストール

QPS Connect Clientインストーラを実行する前に、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskをクライアントコンピュータにインストールしておく必要があります。QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのReadMeファイルの手順に従います。アプリケーションを起動してインストールが成功したことを確認し、アプリケーションを終了します。

QPS Connect Clientインストーラは、コンピュータ上の互換性のあるQuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを検索し、QPS XTensionsソフトウェアを各プログラムのアプリケーションフォルダにインストールします。

➡ また、QPS Connect Clientインストーラは、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのDejavu XT XTensionsソフトウェアを無効にします。Dejavu XT XTensionsソフトウェアによって、**開く**サブメニュー（**ファイル**メニュー）に最近使用したファイルが一覧表示されますが、これによりQPS環境のパフォーマンスが低下する可能性があります。

QPS Connect ClientインストーラがQuarkXPressおよびQuarkCopyDeskの場所を特定できない場合、XTensionsソフトウェアを"QPS Client"フォルダのルートレベルにコピーします。この場合、下記の手順を使用してQPS XTensionsソフトウェアをインストールします。

### Mac OS

QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェアを手動インストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを終了します。
- 2 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 3 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 4 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 5 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 6 Controlキーを押しながらQuarkCopyDeskアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 7 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダ内の"Frameworks"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションパッケージの"Frameworks"フォルダにそのコンテンツをコピーします。
- 8 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションパッケージに"Certificates"フォルダをコピーします。

- 9 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"QPPPlugins"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPPPlugins"フォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダに追加します。
- 10 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"QPSLog"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPSLog"フォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダに追加します。
- 11 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 12 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 13 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 14 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 15 Controlキーを押しながらQuarkXPressアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 16 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"ForQuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダ内の"Frameworks"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションパッケージの"Frameworks"フォルダにそのコンテンツをコピーします。
- 17 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションパッケージに"Certificates"フォルダをコピーします。
- 18 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"QPPPlugins"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPPPlugins"フォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダに追加します。
- 19 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"QPSLog"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPSLog"フォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダに追加します。

### Windows

QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェアを手動インストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを終了します。
- 2 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。

- 3 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 4 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 5 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Symbols"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Symbols"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 6 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"フォルダにある残りのファイルとフォルダをすべてQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダにコピーします。
- 7 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 8 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 9 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 10 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 11 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Symbols"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Symbols"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 12 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"フォルダにある残りのファイルとフォルダをすべてQuarkXPressアプリケーションフォルダにコピーします。
- 13 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。

### インストール後に変更を行うには

- ➡ QPS Server内で実行されているQuarkXPress Server Managerのインスタンスにアクセスするには、ウェブブラウザを起動し、[http://\[QPSサーバー\]:\[ポート\]/qxpsmadmin](http://[QPSサーバー]:[ポート]/qxpsmadmin)に移動します。

### QuarkXPress Serverロケールの識別

日付や数字の書式などのロケール設定の一貫性を保つために、QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定がQPS Serverで認識される必要があります。QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定によって、日付、時間、および数字の書式が決まります。

QPS ServerのQuarkXPress Serverコンピュータのロケールを設定するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverアプリケーションフォルダ内の"conf"フォルダを開きます。
- 2 "ServerApp.properties"をテキスト編集アプリケーションで開きます。
- 3 "qxps.locale=" エントリーまでスクロールします。
- 4 QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定を入力します。英語の場合はen、フランス語の場合はfr、ドイツ語の場合はdeを入力します。
- 5 "ServerApp.properties"を保存して閉じます。

### QuarkXPress Serverの更新

QuarkXPress Serverを別のコンピュータに移動する必要がある場合、QPS Serverを再インストールする必要はありません。代わりにQPS Serverアプリケーションフォルダの"conf"フォルダにある"ManagerConfig.xml"ファイルを編集します。

- 1 QPS Serverアプリケーションフォルダ内の"conf"フォルダを開きます。
- 2 "ManagerConfig.xml"ファイルを開きます。
- 3 <connectioninfo>要素 (manager/hosts/host/connectioninfo) を見つけます。
- 4 <name>要素の値を新しいQuarkXPress ServerのIPアドレスに変更します。
- 5 <port>要素の値を新しいQuarkXPress Server用に指定したポート番号に変更します。
- 6 "ManagerConfig.xml"を保存してQPS Serverを起動します。
- 7 変更を確認するには、"QpsServer.log"ファイルで"Successfully registered with QXPS"という行を探します。

### QPS Connect Clientのインストール内容の更新: Windows

インストール後にQPS Connect Clientソフトウェアに変更を行うには、以下の手順に従います。

- 1 "setup.exe"ファイルをダブルクリックします。QPS — 設定ダイアログボックスが表示されます。
- 2 次へをクリックします。プログラムのメンテナンス画面が表示されます。
  - インストールするQPS Connect Clientファイルを選択するには、設定をクリックします。新しいファイルをインストールするか、すでにインストール済みのファイルを削除できます。
  - QPS Connect Clientファイルに関連した軽微な問題を修正するには、修復をクリックします。このオプションは、QPS Connect Clientファイル、ショートカット、またはレジストリエントリが欠如または破損した場合に使用してください。
  - QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、削除をクリックします。
- 3 次へをクリックします。

前のダイアログボックスで設定をクリックした場合は、カスタムセットアップ画面が表示されます。必要に応じて変更し、次へをクリックします。プログラムを変更する準備ができました画面が表示されます。インストールをクリックします。

前のダイアログボックスで**修復**をクリックした場合は、**プログラムを修復する準備ができました**画面が表示されます。**インストール**をクリックします。

- 4 プロセスが完了したことを示すメッセージが表示されたら、**完了**をクリックします。

## QPS ServerへのRAMの割り当て

JVMに割り当てられるメモリの量を変更することができます。Mac OSまたはWindowsでは、空きメモリ量の50パーセント以下にすることをお勧めします。また、Windowsでは32ビットコンピュータで割り当て量を1536MB以下にしてください。

### Mac OS

Mac OSでQPS Serverに割り当てられるメモリ量を調整するには、下記の手順に従います。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 "QPS Server"アプリケーションフォルダで"ServerStartup.command"を探し、テキスト編集アプリケーションで開きます。
- 3 「java -server -Xmx512m -classpath」を探します。「512M」は、512MBのRAMがQPS Serverに割り当てられることを示しています。
- 4 使用可能なメモリの50パーセントまでの範囲で値を調整します。
- 5 "ServerStartup.command"を保存して閉じ、QPS Serverを再起動します。

### Windows

Windowsでは、QPS Serverの起動方法に応じて、メモリ割り当てを異なる場所に指定できます。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server起動時にQPS Server ConsoleまたはQPS Server Windowsサービスを使用する場合は、"wrapper.conf"ファイルを開きます。
- 3 "wrapper.java.maxmemory"プロパティを探します。
- 4 値を調整します。設定できる値は最大1536で、使用可能なメモリの50パーセントを超えることはできません。
- ➡ 32ビットコンピュータでは1536を超えることはできません。QPSは64ビットコンピュータをサポートしていますが、この場合メモリは最大3072です。
- 5 変更を保存し、QPS Serverを再起動します。
- 6 "Serverstartup.bat"を使用する場合は、以下の手順に従ってください。
- 7 QPS Serverを停止します。
- 8 "ServerStartup.bat"をテキスト編集アプリケーションで開きます。
- 9 "java -server -Xmx512m -classpath"を探します。"512M"は、512MBのRAMがQPS Serverに割り当てられることを示しています。

## QPSソフトウェアのインストール

- 10 値を調整します。設定できる値は最大1536で、使用可能なメモリの50パーセントを超えることはできません。
- ➡ 32ビットコンピュータでは1536を超えることはできません。QPSは64ビットコンピュータをサポートしていますが、この場合メモリは最大3072です。
- 11 変更を保存し、QPS Serverを再起動します。



# QPSソフトウェアの更新

QPS 9.1に更新する場合は、QPS Serverを更新する前にすべてのアセットをチェックインしてください。QPS File Serverを保持できます。各QuarkXPressプロジェクトおよびQuarkCopyDeskアティクルは、アセットをチェックアウトしてチェックインし直したときにQPS 9.1フォーマットに変換されます。

QuarkソフトウェアをQuark License Administrator (QLA) で管理している場合は、アップグレードの前にライセンスをチェックインしてください。

QPS 9.1に更新する前に、QPS 9.0以降のすべてのサーバーコンポーネントおよびクライアントコンポーネントをインストールする必要があります。QuarkCopyDeskおよびQuarkXPressを更新する手順については、それぞれのReadMeファイルを参照してください。

## QPS Serverの更新 (Mac OS)

- ➔ QPSのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデートにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。

QPS Serverを更新するには、下記の手順を実行します。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server ConsoleとQPS Server StatusMenuを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 **QPS Serverアップデート**をダブルクリックします。  
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 5 **続ける**をクリックします。
- 6 プロセスが完了したら**終了**をクリックします。
- 7 QPS Serverを起動します。

### QPS Serverの更新 (Windows)

- ➡ QPSのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデートにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。
- ➡ QPS 9.0のインストール時にMicrosoft SQL ServerまたはOracleを選択した場合は、データベースを更新するためにQPS Database更新プログラムを実行する必要があります。詳細は、「[QPS Databaseのアップグレード](#)」を参照してください。

QPS Serverを更新するには、下記の手順を実行します。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server Consoleを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックして**QPS Serverのインストール**を選択するか、QPS Serverフォルダにある"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。インストーラは自動的にQPSのインストールを検出して更新モードに切り替わります。
- 5 **次へ**をクリックします。
- 6 画面の指示に従います。
- 7 プロセスが完了したら**完了**をクリックします。
- 8 QPS Serverを起動します。

### QPS Connect Clientの更新 (Mac OS)

Mac OS上でQPS Connect Clientを更新するには、下記の手順を実行します。更新プロセスには、QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用のQPS XTensionsソフトウェアの置き換えが含まれます。

- ➡ 同じコンピュータに複数のバージョンのQPS Connect Clientをインストールする場合は、[enterprisesupport@quark.com](mailto:enterprisesupport@quark.com)までご連絡ください。
- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、アップデートファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にして更新を行ってください。
  - 2 "QPS Connect Client 9 Installer.mpkg"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

## QPS Connect Clientの更新 (Windows)

Windows上でQPS Connect Clientを更新するには、下記の手順を実行します。更新プロセスには、QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用のQPS XTensionsソフトウェアの置き換えが含まれます。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、アップデートファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にして更新を行ってください。
- 2 "setup.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってください。

## QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアの更新

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアを更新するには、以下の手順に従います。

- 1 Windowsで、Windowsのアンインストーラを使用して既存のQuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをアンインストールします。
- 2 Windowsでは、Windowsのアンインストーラを使用して、QuarkXPress Serverの既存のインスタンスをアンインストールします。Mac OSでは、既存のQuarkXPress Serverアプリケーションフォルダをごみ箱にドラッグします。
- 3 QuarkXPress Server 9.1をインストールします。詳細は、『**QuarkXPress Server ReadMe**』を参照してください。
- 4 「[QPS Serverの更新 \(Mac OS\)](#)」または「[QPS Serverの更新 \(Windows\)](#)」の説明に従ってQPS Serverを更新します。
- 5 QuarkXPress Server用QPS Server XTensionsソフトウェアをインストールするには、「QuarkXPress Server XTensions」フォルダのインストーラを実行します。

# QPS 9.1へのアップグレード

QPS 9.1にアップグレードする場合は、QPS Serverを更新する前にすべてのアセットをチェックインしてください。QPS File Serverを保持できます。各QuarkXPressプロジェクトおよびQuarkCopyDeskアティクルは、アセットをチェックアウトしてチェックインし直したときにQPS 9.1フォーマットに変換されます。

QuarkソフトウェアをQuark License Administrator (QLA) で管理している場合は、アップグレードの前にライセンスをチェックインしてください。

新しいバージョンのQuarkCopyDeskまたはQuarkXPressをインストールするには、それぞれの**ReadMe**ファイルを参照してください。

- ➡ QPS Connect client用のアップグレードプログラムはありません。アップグレードするには、「[QPS Connect Clientのインストール](#)」の説明に従って新しいバージョンをインストールするだけです。

## QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのアップグレード

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをアップグレードするには、下記の手順に従ってください。

- 1 Windowsで、Windowsのアンインストーラを使用して既存のQuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをアンインストールします。
- 2 Windowsでは、Windowsのアンインストーラを使用して、QuarkXPress Serverの既存のインスタンスをアンインストールします。Mac OSでは、既存のQuarkXPress Serverアプリケーションフォルダをごみ箱にドラッグします。
- 3 QuarkXPress Server 9.1をインストールします。詳細は、『**QuarkXPress Server ReadMe**』を参照してください。
- 4 「QPS Serverのアップグレード (Mac OS)」または「QPS Serverのアップグレード (Windows)」の説明に従ってQPS Serverをアップグレードします。
- 5 QuarkXPress Server用QPS Server XTensionsソフトウェアをインストールするには、「QuarkXPress Server XTensions」フォルダのインストーラを実行します。

## QPS Serverのアップグレード (Mac OS)

- ➡ QPSのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデートにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。

QPS Serverをアップグレードするには、下記の手順を実行します。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server ConsoleとQPS Server StatusMenuを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 **QPS Serverアップグレードプログラム**をダブルクリックします。認証画面が表示されず。名前とパスワードを入力します。
- 5 バリデーションコードを入力します。
- 6 **次へ**をクリックします。
- 7 このコンピュータに複数のQPS Serverがインストールされている場合は、**選択**をクリックして、アップグレードの対象を選択します。該当しない場合は、**続ける**をクリックします。
- 8 プロセスが完了したら**終了**をクリックします。
- 9 QPS Serverを起動します。

## QPS Serverの更新 (Windows)

- ➡ QPSのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデータにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。
- ➡ QPS 8.1のインストール時にMicrosoft SQL ServerまたはOracleを選択した場合は、データベースを更新するためにQPS Database更新プログラムを実行する必要があります。詳細は、「[Windows : MS SQL ServerまたはOracle](#)」を参照してください。

QPS Serverを更新するには、下記の手順を実行します。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server Consoleを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックして**QPS Serverのインストール**を選択するか、QPS Serverフォルダにある"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。インストーラは自動的にQPSのインストールを検出して更新モードに切り替わります。
- 5 バリデーションコードを入力します。
- 6 **次へ**をクリックします。

## QPS 9.1へのアップグレード

- 7 画面の指示に従います。
- 8 プロセスが完了したら**完了**をクリックします。
- 9 QPS Serverを起動します。

### QPS Databaseのアップグレード

以下のトピックでは、QPS Databaseをアップグレードする方法について説明します。

- ➡ QPS Databaseは、Windows上で動作するMS SQL Server、Windows上またはLinux上で動作するOracleを使用する場合のみアップグレードする必要があります。HSQL QPS Databaseは、QPS Serverのアップグレードプログラムを実行するとアップグレードされます。

#### QPS Databaseのアップグレード（Windows）：MS SQL ServerまたはOracle

Windows上で動作するMS SQL ServerまたはOracleをQPSデータベースとして使用している場合は、下記の手動での手順を実行します。

- 1 QPS Serverをシャットダウンします。
- 2 データベースをインストールしたコンピュータ上で、**Upgrader/QPS Server/Database**ディレクトリに移動します。
- 3 "Update.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。
- 4 ドロップダウンメニューから**Oracle/SQL**を選択します。
- 5 画面の指示に従います。

#### QPS Databaseのアップグレード（Linux）：Oracle

Linux上で動作するOracleをQPSデータベースとして使用している場合にQPSデータベースをアップグレードするには、下記の手動での手順を実行します。

- 1 QPS Serverをシャットダウンします。
- 2 **Upgrader/QPS Server/Database/Oracle**ディレクトリに移動します。
- 3 "Update"フォルダを、Oracleをインストールしたコンピュータのローカルのハードドライブにコピーします。このフォルダにはデータベース更新スクリプトが含まれます。
- 4 コマンドプロンプトを表示して、ローカルのハードドライブの"Update"フォルダに移動します。
- 5 "Upgrade.sh"スクリプトを実行するには、**sh Upgrade.sh**と入力して以下の引数を指定します。

- **SysPwd** : データベースのSYSユーザーのパスワード
- **QPPUser** : QPSスキーマの名前
- **QPPPwd** : QPSスキーマのパスワード
- **ServiceName** : Oracleサービス名

# QPS XDKのドキュメント

QPS ServerおよびQPS Connect Client用のXDKは、別のインストーラに含まれており、ドキュメントと一緒にインストールされます。QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェアのXDKのドキュメントは、[qdr.quark.com](http://qdr.quark.com)から入手できます。

# QPS Serverの起動

Mac OSとWindowsでは、QPS Serverの起動方法が異なります。Mac OSでは、QPS Serverのインストールが完了すると、**QPS Server Console**が表示され、**QPS Serverを起動**をクリックできます。また、QPS Serverをサービスとしてインストールするか、**マシンが再起動したときに自動的に起動**をオンにすると、QPS Serverコンピュータを再起動したときにQPS Serverが自動的に起動します。

## Mac OS

Mac OSでQPS Serverを起動するには、以下の手順に従います。

- 1 アップルメニューで**システム環境設定**を選択します。  
システム環境設定ウィンドウが表示されます。
- 2 システム環境設定ウィンドウの下部にある**その他**の下の**QPS Server**をクリックします。  
QPS Server Consoleが表示されます。
- 3 QPS Serverを**起動**をクリックします。  
サーバーの状況フィールドに**起動中**と表示された後、**稼動中**と表示されます。

## Windows

- ➡ ユーザーアカウント制御を有効にしたWindows Server 2008 R2にQPSをインストールした場合、管理者として下記の操作を行う必要があります。

WindowsでQPS Serverを起動するには、下記の手順に従ってください。

- 1 スタート > **すべてのプログラム** > **QPS Server** > **QPS Server Console**を選択します。  
QPS Server Consoleが表示されます。
- 2 QPS Serverを**起動**をクリックします。  
サーバーの状況フィールドに**起動中**と表示された後、**稼動中**と表示されます。

## QXP Serverの再起動の自動化

QuarkXPress Serverをインストールしたら、以下のパラメータを指定して、サブレンダラーの監視機能を有効にしてQuarkXPress Serverが起動されるようにします。QuarkXPress Serverのマスタープロセスは、サブレンダラーのプロセスを監視し、必要に応じてサブレンダラーを再起動します。監視の間隔を指定するには"-queryinterval"パ



ラメータを使用し、再試行の回数を指定するには"-noofreties"パラメータを使用します。

- 1 テキスト編集アプリケーションを使用して、[QuarkXPress Serverアプリケーションフォルダ]/conf/ServerApp.propertiesファイルを開きます。
- 2 `qxpservercore.monitorrenderers.value=true`と設定します。
- 3 `qxpservercore.monitorrenderers.queryinterval.value=60`と設定します。
- 4 `qxpservercore.monitorrenderers.noofreties.value=3`と設定します。

# アンインストール

## QPS Serverのアンインストール

### Mac OS

QPS Serverをアンインストールするには、まずQPS Serverをシャットダウンし、QPS Server ConsoleおよびQPS Serverの状況メニューを終了します。次に、QPS Serverのアプリケーションフォルダを開いて**QPS Server Uninstaller**をダブルクリックし、画面の指示に従います。

### Windows

QPS Serverをアンインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 QPS Serverを停止し、QPS Server Consoleを終了します。
  - 2 **スタート > すべてのプログラム > QPS Server > QPS Serverのアンインストール**を選択します。
  - 3 **はい**をクリックします。アンインストール処理に必要な情報がアンインストーラによって収集されます。
  - 4 **はい**をクリックして続行するか、**いいえ**をクリックしてキャンセルします。
- ➡ アンインストーラは自動的に終了し、メッセージは表示されません。
- ➡ QPS Serverソフトウェアの削除は、**コントロールパネル > プログラムの追加と削除**から行うこともできます。

## QPS Connect ClientおよびQPS XTensionsソフトウェアのアンインストール

### Mac OS

QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ハードドライブの"Applications"フォルダ（またはQPS Connect Clientアプリケーションをインストールしたフォルダ）を開き、"QPS Client"フォルダをごみ箱にドラッグします。
- 2 下記のフォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダから削除します。

- QPPPlugins
  - QPSLog
- 3 Controlキーを押しながらQuarkXPressアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 4 下記のファイルおよびフォルダを削除します。
- QPPCore.framework
  - QPPLogging.framework
  - QPPPluginInterface.framework
  - QPPServiceProxy.framework
  - QPPUIExtensions.framework
  - QPSXTControls.framework
  - UIAccessLayer.framework
- 5 下記のXTensionsソフトウェアモジュールをQuarkXPressアプリケーションフォルダにある"XTensions"フォルダから削除します。
- Notes.xnt
  - NotesUI.xnt
  - QCDImportFilter.xnt
  - QPS XT.xnt
  - QPSDataProvider.xnt
  - QPSPlaceholderXT.xnt
  - RedlineXT.xnt
- 6 下記のフォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダから削除します。
- QPPPlugins
  - QPSLog
- 7 Controlキーを押しながらQuarkCopyDeskアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 8 下記のファイルおよびフォルダを削除します。
- QPPCore.framework
  - QPPLogging.framework
  - QPPPluginInterface.framework
  - QPPServiceProxy.framework
  - QPPUIExtensions.framework

## アンインストール

- QPSXControls.framework
  - UIAccessLayer.framework
- 9 下記のXTensionsソフトウェアモジュールをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダにある"XTensions"フォルダから削除します。
- QPS XT.xnt
  - QPSPlaceholdersXT.xnt

### Windows

QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Connect Clientを終了します。
  - 2 **スタート > すべてのプログラム > QPSクライアント > QPSクライアントのアンインストール**を選択します。
  - 3 **はい**をクリックします。アンインストーラがアンインストールに必要な情報を収集し、QPS Connect Clientアプリケーションフォルダの内容が削除されることを示す警告が表示されます。
  - 4 **はい**をクリックして続行するか、**いいえ**をクリックしてキャンセルします。
- ➡ QPS Connect Clientインストーラを使用してQuarkCopyDeskおよびQuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェアをインストールしていた場合は、QPS Connect Clientアンインストーラは、これらのXTensionsソフトウェアモジュールも削除します。

# このバージョンにおける変更点

QPSの本バージョンにおける変更点は、以下のとおりです。

## 全般的な変更点

QPSアセットをコンポジションゾーンレイアウトと共有ボックスにリンクできるようになりました。

デジタルアセット（オーディオ、ビデオ、およびXMLファイル）をQPSにチェックインすることができます。デジタルアセットに対して別のストレージルールを作成できるので、ワークフローをビデオファイルとオーディオファイルに適用するかどうかを指定できます。

**オーディオ、ビデオ、およびXML**のアセットの種類に、新しい権限が追加されました。

アセットをボックスにリンクし、そのボックスを**共有コンテンツ**パレットに追加して、プロジェクトのさまざまな場所で使用していても、そのアセットについてQPSに表示されるのは**最初リンクされたボックスのみ**です。しかし実際には、ボックスのあらゆるインスタンスを使用してリンクをチェックアウトし、編集できます。

同じアセットを同じプロジェクトファイルの複数のレイアウトにリンクできます。このようにリンクすると、そのアセットは、リンクされているどのレイアウトからでも編集できるようになります（ただしアセットがアーティクルの場合は例外で、プライマリリンクのあるレイアウトからしか編集できません）。アセットは、複数のレイアウトにリンクされている場合でも、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウに一度しか表示されません。**ワークスペースブラウザ**ウィンドウでこのような状態のアーティクルを分離した場合、そのアーティクルはアクティブレイアウトからのみ分離されます。

**プレビューメニュー**にサイドバーが追加されました。アーティクルの場合は、サイドバーにフラットプランビューが表示されます。プロジェクトでは、このサイドバーに印刷レイアウト、インタラクティブレイアウト、App Studioレイアウトのフラットプランビューが表示されるとともに、上部のタブによってプロジェクトのレイアウト間を切り替えられます。

サブコレクションペインまたは検索結果ペインから**お気に入り**領域へドラッグすることで、コレクションからお気に入りを作成できるようになりました。

アセットをサブコレクションペインまたは検索結果ペインから**コレクションツリー**にドラッグするか、ファイルシステムからサブコレクションペインのコレクションにドラッグすることで、アセットをコレクションに追加できるようになりました。

コレクションを**コレクションツリー**内の新しい場所にドラッグすることで、コレクションの場所を変更できるようになりました。また**コレクションツリー**で、Option/Ctrlキー

## このバージョンにおける変更点

を押しながらコレクションをドラッグして、コレクションのコピーを作成できます。ダイアログボックスが表示され、コレクションのアセットを一緒に移動またはコピーするかどうかを選択できます。これらの操作はいずれも、コレクションのコンテキストメニューを使用して実行できます（QPS Web Hubで、Command/Ctrlキーを押しながらコレクションをドラッグします）。コレクションをCommand+Option/Ctrl+Altキーを押しながらドラッグして移動すると、ダイアログボックスが表示されて、対象のコレクションだけでなく子アセットも移動またはコピーするかどうかを選択できます。

すべてのQPSクライアントで、**PDFとして取得**コマンドおよび**Adobe® Flash®として取得**コマンドが、それぞれ**Publish as PDF**および**Publish as Adobe® Flash®**という名前に変更されました。

すべてのQPSクライアントで、下記のオプションが使用できるようになりました。

- **元のアセットの取り込み**：QPSに関連付けられていないアセットのコピーが作成されます。
- **PDFとして発行**：QuarkXPressプロジェクト内の印刷レイアウトまたはApp StudioレイアウトをPDF形式にします。使用するレイアウトと出力スタイルを指定できます。
- **Adobe® Flash®として発行**：SWF（Flash）形式のインタラクティブレイアウトが作成されます。使用するレイアウトと出力スタイルを指定できます。
- **ePUBとして発行**：印刷レイアウトまたはApp Studioレイアウトのリフローアールから、ePUBファイルが作成されます。このオプションは、レイアウトにリフローアールが含まれている場合のみ利用できます（詳細は、『QuarkXPressガイド』の「リフロービューの使用」を参照してください）。使用するレイアウトと出力スタイルを指定できます。
- **AVEとして発行**：QuarkXPressプロジェクト内の印刷レイアウトまたはApp Studioレイアウトから、App Studio（.zave）ファイルとマニフェスト（.zavem）ファイルを含む.zipファイルが作成されます（詳細は、『QuarkXPressガイド』の「App Studio」を参照してください）。使用するレイアウトと出力スタイルを指定できます。

複数の印刷レイアウト、インタラクティブレイアウト、App Studioレイアウトが含まれているQuarkXPressプロジェクトをプレビューすると、**プレビュー**ウィンドウの個別のタブに各レイアウトが表示されます。

下記の操作を制御する権限が、すべてのQPSクライアントに付与されました。

- ユーザーが検索を作成できるかどうか。
- ユーザーがコレクションとコレクションテンプレートを移動、コピー、およびペーストできるかどうか。
- ユーザーがマッピングセットを作成、変更、表示、および削除できるかどうか。
- ユーザーがアセットを複製できるかどうか（Windowsのみ）。
- ユーザーがコレクションテンプレートを作成、変更、および削除できるかどうか。

下記の種類のレイアウトに下記の属性が追加されました。プロジェクトのチェックイン時に、**属性の編集**ダイアログボックスで下記の属性を設定できます。

属性	印刷レイアウト	ウェブレイアウト	インタラクティブレイアウト	App Studioレイアウト
先頭ページ	x			x

属性	印刷レイアウト	ウェブレイアウト	インタラクティブレイアウト	App Studioレイアウト
最終ページ	X			X
レイアウトの種類	X	X	X	X
ページ数	X			X
向き	X			X
ページの高さ	X		X	X
ページの幅	X		X	X
縦組み／横組み	X			X
デバイス				X

下記のテキストコンポーネントの種類が使用できるようになりました。これらは、QuarkXPressリフローアーティクルで使用されているのと同じテキストコンポーネントの種類です。

- 本文
- 著者名
- 署名（作成者）
- 図のキャプション
- 図のクレジット
- 見出し
- 見出し2
- 段落のインデント
- 抜粋リード
- セクション名／チャプター名
- タイトル
- タイトル2
- 番号付きリスト
- 番号なしリスト

下記の画像コンポーネントの種類が使用できるようになりました。これらは、QuarkXPressリフローアーティクルで使用されているのと同じ画像コンポーネントの種類です。

- 本文
- 著者名
- 図
- 見出し

画像のリンク情報に、画像をレイアウトにリンクするためのアーティクルのリストが追加されました。

## このバージョンにおける変更点

コレクションの編集ダイアログボックスでコレクションの設定を変更したときに、それらの変更をコレクションのサブコレクションに反映できるようになりました。親コレクションに対する変更をサブコレクションに反映するには、親コレクションを変更する際に、各ペインにある子コレクションに設定を適用ドロップダウンメニューで下記のオプションのいずれかを選択します。

- **なし**：子コレクションは変更されません。
- **融合**：このオプションでは、親コレクションの設定をそのすべての子コレクションに追加します。子コレクションにまだ存在しない設定のみが、子コレクションに追加されます。たとえば、子コレクションに"W1"というワークフローがあり、親コレクションに"W2"というワークフローを割り当てた場合、操作後の子コレクションには"W1"と"W2"の両方のワークフローが含まれます。ユーザーが子コレクションと親コレクションにそれぞれ異なるルールを割り当てた場合、子コレクションに対して割り当てられたルールは変更されません。
- **上書きする**：このオプションでは、子コレクションのすべての設定を親コレクションの新しい設定で上書きします。たとえば、子コレクションに"W1"というワークフローがあり、親コレクションに"W2"というワークフローを割り当てた場合、操作後の子コレクションには"W2"のワークフローのみが含まれます。

➡ たとえば各ペインの**Apply to child collections**ドロップダウンメニューから別のオプションを選択します。**OK**をクリックすると、そのペインの設定が各ペインの設定に優先します。

Windowsで、事前定義のマッピングに基づいて、2つのQPSサーバー間でアセットを複製できるようになりました。また、ルールがマッピングセットを作成、変更、表示、削除し、アセットを複製するための権限も設定できます。

(Mac OSのみ) 設定可能なすべての.plistファイルがアプリケーションバンドルから外され、次の場所に移動しました。詳細は、『QPS System Administration Guide』を参照してください。前のバージョンでこれらの設定に変更を加えていた場合、下記に示す場所にある.plistファイルに、それらの変更を転送する必要があります。

- `com.quark.qpp.client.[アプリケーション名].config.plist:~/Library/Preferences/Quark/QPS/[QPSフレームワークのバージョン]`
- `com.quark.qpp.client.[アプリケーション名].config.plist:~/Library/Application Support/Quark/QPS/[QPSフレームワークのバージョン]`
- `com.quark.qpp.client.icon.config.plist:~/Library/Preferences/Quark/QPS/[QPSフレームワークのバージョン]`

QPS XTensions開発者は、エンドユーザーがQuarkXPress、QuarkCopyDesk、およびQPS Connect Clientで、コレクションテンプレートの作成、変更、複製、および削除を行うためのメニュー項目を有効および無効に設定できるようになりました。

QPSアティクルリンクを含むプロジェクトを開き、**表示 > リフロービュー**を選択すると、リンクされているすべてのQPSアティクルが自動的にリフローアティクルにコピーされます。その後、別のアティクルまたはコンポーネントを追加する場合は、**新規アティクルとコンポーネントをアクティブなレイアウトから追加**（新規アティクルとコンポーネントをアクティブなレイアウトから追加する場合）または**新規アティクルとコンポーネントをアクティブなレイアウトファミリーから追加**（新規アティク



ルとコンポーネントをすべてのアクティブなレイアウトから追加する場合)を選択して、それらのアークティクルとコンポーネントの内容をリフロービューに追加することができます。

### QPS Web Hubの変更点

App StudioレイアウトをWeb Hubで編集し、オーディオアセットとビデオアセットをチェックインしてApp Studioで使用できるようになりました。これらのアセットは、**アセットリンク**ダイアログボックスと**プレビュー**ペインに表示されます。

文字飾りの適用の取り消しとやり直しができるようになりました。

テキストからローカルフォーマットを消去できるようになりました。選択したテキストからすべての文字フォーマットと段落フォーマットを消去するには、適用されている段落スタイルシートの名前をOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、**スタイルシートの適用とローカルフォーマットの削除**を選択します。

**リビジョンの表示**ダイアログボックスに、アセットリビジョンのサムネールプレビューが表示されるようになりました。

HTML 5をサポートするウェブブラウザで、ファイルシステムからサブコレクションペインまたは検索結果ペインにアセットをドラッグすることによって、選択したコレクションにアセットをチェックインできるようになりました。

HTML 5をサポートするウェブブラウザで、複数のファイルを同時に選択してチェックインできるようになりました。Web Hubに複数のファイルをドラッグアンドドロップすることもできます。

コレクションを別のコレクションに移動またはコピー&ペーストできるようになりました。コレクションをペーストするとき、コレクションのみをペーストするか、コレクションとそのアセットの両方をペーストするかを選択できます。

アセットを検索結果ペインから、ナビゲーションペインの**コレクション**ツリーにあるコレクションにドラッグできるようになりました。

ユーザーロールごとに、ツールバーアイテムとコンテキストメニューの選択肢と配置を指定できるようになりました。ロールに対してツールバーアイテムとコンテキストメニューの選択肢と配置を指定するには、ファイル、`¥Server (Standalone)¥webapps¥WebHub¥WEB-INF¥workspace-ui-config.xml`を編集します。このファイルに特定のロールについてのエントリが含まれていない場合、そのロールにはデフォルトのツールバーとコンテキストメニューが表示されます。

Web Hubに下記の新しい権限が追加されました。

- Publish Project as AVE output
- Publish Project as ePUB output

### App Studioの変更点

App Studioパレットを使用して、デジタルアセットデジタルアセット（オーディオ、ビデオ、およびXMLファイル）を画像ボックスにリンクすることができます。

## このバージョンにおける変更点

- ➡ **App Studio**パレットを使用してリンクされたリンクは、**プロジェクトリンク**パレットには表示されません。

QuarkXPressの**使用状況**ダイアログボックス（**ユーティリティ**メニュー）では、QPSから追加されたデジタルアセットは、**ソース**列に**QPS**と表示されます。

**プレビュー**ペインに、レイアウトにリンクされているデジタルアセットの情報が表示されるようになりました。

1つの画像アセットと1つ以上のデジタルアセットを同じボックスにリンクできます。たとえば、画像ボックスをユーザーがタップするまでは静止画像として表示し、タップするとスライドショーとして表示する場合、その画像ボックスには静止画像だけでなく、スライドショーのすべての画像もリンクする必要があります。これを実現するには、画像アセットを通常の方法でボックスにリンクした後、**App Studio**パレットを使用して、1つ以上のデジタルアセット（この場合は、スライドショーの画像）を同じボックスにリンクします。チェックインしてプロジェクトのリビジョンを保存すると、**ワークスペースブラウザ**で、そのボックスに複数のアセットがリンクされていることが表示されます（レイアウトにリンクされているデジタルアセットは、**オーバーレイ**アセットと呼ばれ、



アイコンで示されます）。

**プレビュー**ペインに、レイアウトにリンクされているApp Studioアセットの情報が表示されるようになりました。

**一般 > アセット**および**一般 > 属性**の下のすべての権限は、オーディオアセットとビデオアセットで優先されます。

- ➡ App Studioの詳細は、『QuarkXPressガイド』を参照してください。

# 既知および解決済みの問題

このバージョンのソフトウェアに存在する既知の問題および解決済みの問題の一覧については、QuarkのWebサイト ([www.quark.com](http://www.quark.com)または[euro.quark.com](http://euro.quark.com)) にアクセスしてください。

# Quarkへの連絡

このソフトウェアのインストール、設定、または使用方法についてのご質問は、Quarkにお問い合わせください。

## 南北アメリカ

企業向け製品（QPSおよびQuarkXPress Server）のテクニカルサポートについては、800.788.0045（月～金、午前7：00～午後6:00、米国山岳時間）までお電話でお問い合わせいただくか、または[enterprisesupport@quark.com](mailto:enterprisesupport@quark.com)宛てに電子メールでご連絡ください。

デスクトップ製品（QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk）のテクニカルサポートについては、800.676.4575（月～金、午前7：00～午後5:00、アメリカ山岳部時間）までお電話でお問い合わせいただくか、または[techsupp@quark.com](mailto:techsupp@quark.com)宛てに電子メールでご連絡ください。

製品情報については、Quarkウェブサイト[www.quark.com](http://www.quark.com)をご覧ください。または、[cservice@quark.com](mailto:cservice@quark.com)宛てに電子メールでお問い合わせください。

## 南北アメリカ以外の国々

英語のテクニカルサポートの電話での受付時間は、中央ヨーロッパ時間の月～金、8:30～17:30です。電子メールでのお問い合わせの宛先は、[enterprisesupport@quark.com](mailto:enterprisesupport@quark.com)です。

オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、およびイギリスでは、電話で00800 1787 8275に問い合わせてください。南北アメリカ以外のその他すべての国では、以下の番号にお問い合わせください。

- ベルギー：0800.77.296
- フランス：0800.91.3457
- ドイツ：0800.180.0101
- アイルランド：1800.55.0241
- イタリア：800.87.4591
- 日本：00531.13.1492
- ルクセンブルグ：8002.3861
- ノルウェー：800.1.4398

- スペイン : 900.941.328
- スウェーデン : 020.790.091
- スイス : 0800.55.7440
- イギリス : 0808.101.7082

製品情報については、Quarkウェブサイト [euro.quark.com](http://euro.quark.com) をご覧ください。または、[eurocservice@quark.com](mailto:eurocservice@quark.com) 宛てに電子メールでお問い合わせください。

### オーストラリア

テクニカルサポートについては、1 800.670.973（月～金、午前10:00～午後7:00、シドニー時間（AEST））にお電話でお問い合わせいただくか、または [austechsupp@quark.com](mailto:austechsupp@quark.com) 宛てに電子メールでご連絡ください。

## 法律上の注記

© 1986-2011 Quark Software Inc. and its licensors. All rights reserved.

次の米国特許によって保護されています。5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843、およびその他の出願中の特許。

Quark、Quarkロゴ、QuarkXPress、QuarkCopyDesk、Quark Publishing System およびQPSは、Quark Software Inc.とQuark関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。